

# DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube

# I. 製品説明

DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube は、蛍光標識プロープアッセイ用のリアルタイム PCR 用試薬です。2×濃度に予め調製されたマスターミックスが小分け分注済みです。ROX による補正を必要とする装置にも対応可能なように 50 x ROX Passive Reference が添付されています。

本製品は、株式会社島津製作所の Ampdirect<sup>®</sup>・1)をベースに、専用のホットスタート PCR 酵素を組合せて最適化したもので、PCR 阻害物質の影響を抑制することにより、様々な生体試料から DNA を精製することなく蛍光標識プローブアッセイを行うことが可能です。

本製品は、農林水産省委託事業「新農業展開ゲノムプロジェクト」(GMO 評価・管理) GAM-211 のもと、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所、株式会社 島津製作所、株式会社 ニッポンジーンが開発を行いました。

\*1) Ampdirect®は、株式会社島津製作所の商標です。

## Ⅱ. 保存

-20°C (遮光)

4°C保存(遮光)の場合は1ヶ月以内にご使用下さい。 長期保存する場合は-20°C (遮光)で保存して下さい。 50 x ROX Passive Reference は光によって劣化する恐れが ありますので、遮光して保管してください。

#### |||. 製品内容

試 薬	200 反応用	
2 x DirectAce qPCR Mix No ROX *2)	1.25 ml x 4 本	
50 x ROX Passive Reference*3)	0.2 ml x 1 木	

- \*2) Hot-Start DNA Polymerase, Ampdirect® Buffer, dNTP Mixture,  ${\rm Mg}^{2^*},{\rm stabilizer}$  を含んでいます。
- \*3) Life Technologies 社製リアルタイム PCR 装置など、ウェル間の蛍光シグナル の補正を行う装置で解析する場合に使用します。

### IV. 注意

- ・使用時は、泡立てないように穏やかに転倒混和し、試薬を 十分均一にしてからご使用ください。
- 本品は、蛍光標識プローブとして MGB(Minor Groove Binder)構造を有する TaqMan<sup>®</sup> \*<sup>4)</sup>MGB プローブのご使 用には適しておりません。
- Uracil-N-Glycosylase によるキャリーオーバー処理は出来ません。
  - \*4) TagMan®は、Roche Molecular Systems 社の商標です。

# V. 使用例

<前処理>

生体試料約5gに20 ml の組織溶解液\*5)を加えてフードミル等で破砕する。20分間常温で静置後、上清を蒸留水で2倍以上に希釈してTemplate DNAとする。

\*5) 組織溶解液: 20 mM Tris-HCl (pH 8.0), 5 mM EDTA, 400 mM NaCl, 0.3% SDS

<反応液(例)>		〔50 µl 系〕	〔25 µl 系〕
2 x DirectAce qPCR Mix N	No ROX	25.0 µl	12.5 µl
25 μM Primer Forward		1.0 µl	0.5 μΙ
25 μM Primer Reverse		1.0 µl	0.5 μΙ
10 μM TaqMan <sup>®</sup> Probe		1.0 µl	0.5 μΙ
Template DNA		5.0 µl	2.5 µl
50 x ROX Passive Reference <sup>⋆6)</sup>			
d.d.H <sub>2</sub> O	up to	50.0 µl	25.0 µl

\*6) ROX 補正を必要としない装置の場合、添加する必要はありません。ROX 補正を必要とする ABI PRISM<sup>®</sup> 7000/7700/7900HT、7300 Real-time PCR System、ABI GeneAmp<sup>®</sup> 5700 には終濃度 1 × になるように添加してください。ABI Prism<sup>®</sup> SDS 7500、Stratagene Mx3000P / 3005 / 4000 には終濃度 0.1 × になるように添加してください。

#### <PCR サイクル>

95°C 10 min 95°C 15 sec 60 ~ 65°C 60 sec 45 cycles

Primer 及び Probe のデザインや Template 等により反応の至 適条件が変わることがあります。

#### <参考文献>

Mano, J.; Hatano, S.; Futo, S.; Minegishi, Y.; Ninomiya, K.; Nakamura, K.; Kondo, K.; Teshima, R.; Takabatake, R.; Kitta, K.; Development of direct real-time PCR system applicable to a wide range of foods and agricultural products.; Food Hyg. Saf. Sci. 2014, 55, 25-33.

本製品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。 医薬品の用途には使用しないでください。